

民間ネット調査「環境学習に関するアンケート」（令和3年7月実施）の結果

○調査目的

大阪市では、環境問題に関する講座やイベントなど、さまざまな環境学習関連事業を実施しています。

環境問題への関心が高まっており、節電等の省エネやごみ減量など、日常生活の中で取り組んでいる方も増えていますが、環境問題への理解を深め、さらに多くの方々に取り組んでいただくことが必要であると考えています。

そこで、市民のみなさまが大阪市の環境学習関連事業に関して、どのような意識やお考えをお持ちになっているかをお聞きし、効果的な事業展開を図っていくうえでの参考にするため、今回の調査を実施します。

○調査期間

令和3年7月15日から7月16日

○調査内容

環境学習関連事業について

○回答構成

(1) 有効回答数 500回答 (100%) (調査対象 500人)

(2) 性別 男性：250回答
女性：250回答

(3) 回答者属性

		男性	女性	合計	割合
年代別	29歳以下	50	50	100	20.0%
	30歳代	50	50	100	20.0%
	40歳代	50	50	100	20.0%
	50歳代	50	50	100	20.0%
	60歳以上	50	50	100	20.0%
合計		250	250	500	100.0%
地域別	中心ブロック	54	62	116	23.2%
	西部ブロック	35	24	59	11.8%
	北部ブロック	41	31	72	14.4%
	東部ブロック	53	60	113	22.6%
	南部ブロック	67	73	140	28.0%
合計		250	250	500	100.0%

【地域別】

中心ブロック：北区・福島区・中央区・西区・天王寺区・浪速区

西部ブロック：此花区・港区・大正区・住之江区

北部ブロック：西淀川区・淀川区・東淀川区

東部ブロック：都島区・東成区・生野区・旭区・城東区・鶴見区

南部ブロック：阿倍野区・住吉区・東住吉区・平野区・西成区

※本調査結果についての留意事項

- ・質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。
- ・数値(%)は、各実数を元に比率表示し、小数第2位を四捨五入で算出しています。したがって、内訳の合計が全体の合計に一致しないことがあります。
- また、複数回答の質問については、該当者数を母数に比率表示しています。

〔参考〕

(1) 平成 21 年度に実施した「ヒートアイランド対策」についての世論調査

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市住民
2,500 人

調査期間：平成 21 年 9 月 25 日から 11 月 12 日

調査内容：(1)「ヒートアイランド現象」について
(2)「打ち水」について
(3)「緑のカーテン・カーペット」について
(4)「風の道」について
(5)「ヒートアイランド現象の緩和」について

有効回答数：1,591 回答 (63.6%)

(2) 平成 23 年度に実施した「大阪市の環境施策について」の市政モニターアンケート

調査対象：市政モニター 600 人

調査期間：平成 23 年 6 月 28 日から 7 月 7 日

調査内容：(1)「生物多様性」の認知度について
(2)暮らしの中での「生物多様性」の恵みについて
(3)「生物多様性」の危機の認知度について
(4)自然や生き物への関心についてなど

(3) 平成 24 年度に実施した「ヒートアイランド対策」についての市政モニターアンケート

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市住民
889 人

調査期間：平成 24 年 10 月 29 日から 11 月 9 日

調査内容：平成 21 年度世論調査と概ね同様の内容

有効回答数：589 回答 (66.3%)

(4) 平成 25 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市住民
914 人

調査期間：平成 25 年 11 月 8 日から 11 月 18 日

調査内容：(1) 環境関連のイベント・講座について
(2) 身近なヒートアイランド対策について
(3) 生物多様性について

有効回答数：610 回答 (66.7%)

(5) 平成 26 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市住民
796 人

調査期間：平成 27 年 1 月 30 日から 2 月 9 日

調査内容：(1) 環境関連のイベント・講座について
(2) 身近なヒートアイランド対策について
(3) 生物多様性について

有効回答数：561 回答 (70.5%)

- (6) 平成 27 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート
調査対象 : 大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市住民 798 人
調査期間 : 平成 28 年 1 月 29 日から 2 月 8 日
調査内容 : (1) 環境関連のイベント・講座について
 (2) 身近なヒートアイランド対策について
 (3) 生物多様性について
 (4) 水環境について
有効回答数 : 508 回答 (63.7%)
- (7) 平成 28 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート
調査対象 : 大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市民 796 人
調査期間 : 平成 28 年 9 月 16 日から 9 月 26 日
調査内容 : (1) 環境関連のイベント・講座について
 (2) 身近なヒートアイランド対策について
 (3) 生物多様性について
 (4) 水環境について
有効回答数 : 622 回答 (78.1%)
- (8) 平成 29 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート
調査対象 : 大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市民 800 人
調査期間 : 平成 29 年 9 月 8 日から 9 月 19 日
調査内容 : (1) 環境学習のイベント・講座について
 (2) 地球温暖化対策について
 (3) 自動車の保有状況について
 (4) 身近なヒートアイランド対策について
 (5) 生物多様性について
 (6) 水環境について
有効回答数 : 642 回答 (80.3%)
- (9) 平成 30 年度に実施した「環境関連の事業」についての市政モニターアンケート
調査対象 : 大阪市に居住している外国人登録者を含めた 20 歳以上の大阪市民 800 人
調査期間 : 平成 30 年 9 月 14 日から 9 月 26 日
調査内容 : (1) 環境学習のイベント・講座について
 (2) 地球温暖化対策について
 (3) 身近なヒートアイランド対策について
 (4) 生物多様性について
 (5) 水環境について
有効回答数 : 649 回答 (81.4%)
- (10) 令和元年度に実施した「環境関連の事業」についての民間ネット調査
調査対象 : 大阪市に居住している外国人登録者を含めた 18 歳以上の大阪市民 500 人
調査期間 : 令和元年 9 月 6 日から 9 月 12 日
調査内容 : (1) 環境学習のイベント・講座について
 (2) 地球温暖化対策について
 (3) 身近なヒートアイランド対策について
 (4) 生物多様性について
 (5) 水環境について
有効回答数 : 500 回答 (100%)

(11) 令和2年度に実施した「環境関連の事業」についての民間ネット調査

調査対象：大阪市に居住している外国人登録者を含めた18歳以上の大阪市民500人

調査期間：令和2年8月18日から8月19日

調査内容：(1) 地球温暖化対策について

(2) ヒートアイランド対策について

(3) 生物多様性について

(4) 水環境について

有効回答数：500回答(100%)

○結果概要

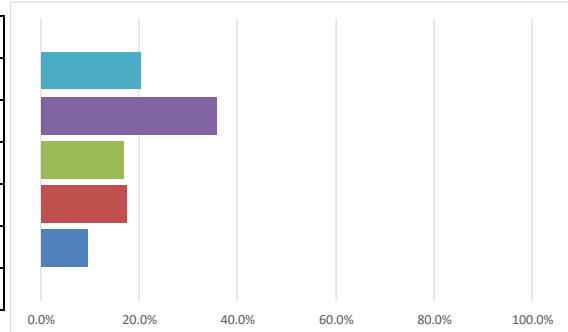
(1) 環境学習関連事業について

Q 1. <環境問題への関心>

地球温暖化、ヒートアイランド現象 (*1)、プラスチックごみによる海洋汚染、生物多様性 (*2) の損失など、環境問題について関心がありますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q1

	回答数	比率
1 関心がある	101	20.2%
2 どちらかといえば関心がある	179	35.8%
3 どちらかといえば関心がない	85	17.0%
4 関心がない	87	17.4%
5 わからない	48	9.6%
回答総数	500	100.0%



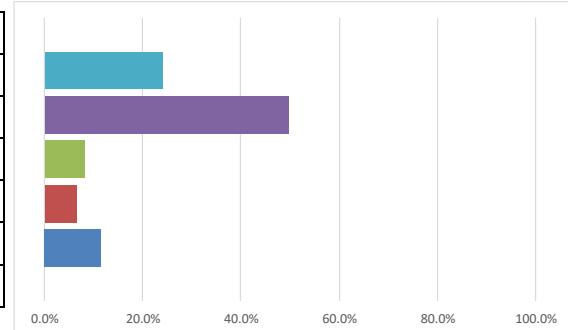
半数以上の方が関心を持っている。

Q 2. <環境問題への取組の必要性>

一人ひとりが環境問題について取り組む必要があると思いますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q2

	回答数	比率
1 とても必要と思う	120	24.0%
2 必要と思う	249	49.8%
3 あまり必要とは思わない	41	8.2%
4 必要とは思わない	33	6.6%
5 わからない	57	11.4%
回答総数	500	100.0%



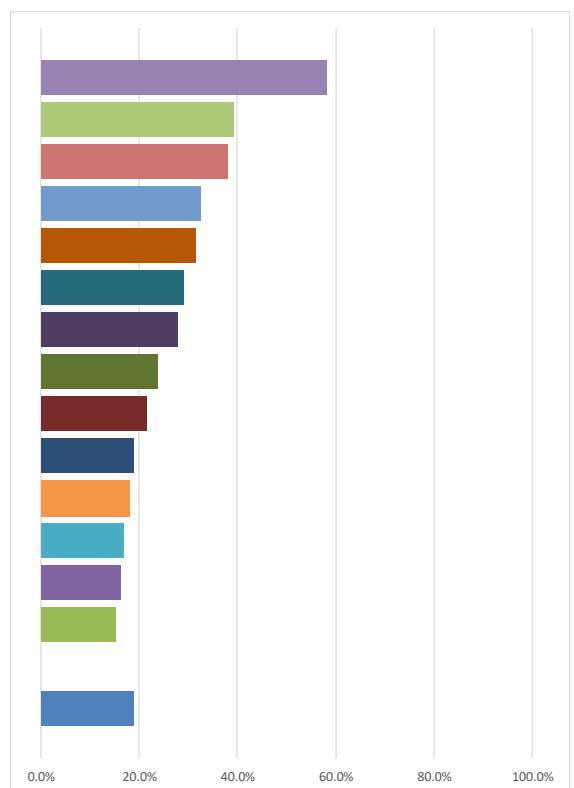
7割以上の方が取り組む必要があると回答している。

Q 3. <環境課題への興味・関心>

どのような環境問題に興味・関心をお持ちですか。あてはまるものをすべてお選びください。

Q3

		回答数	比率
1	地球温暖化	292	58.4%
2	大気汚染	196	39.2%
3	廃棄物の処理	191	38.2%
4	水質汚濁	163	32.6%
5	海洋汚染	157	31.4%
6	オゾン層の破壊	145	29.0%
7	熱帯林の減少	140	28.0%
8	騒音・振動	119	23.8%
9	砂漠化	108	21.6%
10	生物多様性(*1)の減少	94	18.8%
11	悪臭	91	18.2%
12	開発途上国の環境問題	85	17.0%
13	酸性雨	81	16.2%
14	有害廃棄物の越境移動	77	15.4%
15	上記以外の環境問題(具体的に)	0	0.0%
16	環境問題に興味・関心はない	94	18.8%
回答総数		2033	
該当者数		500	



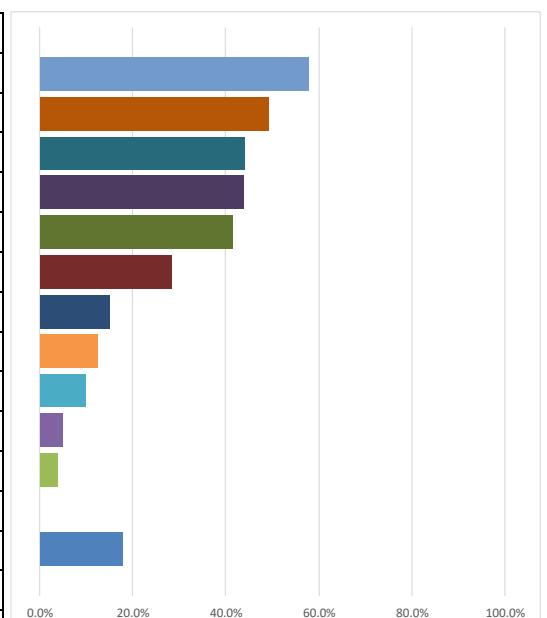
8割以上の方が何らかの環境問題に興味・関心を持っている。

Q 4. <環境問題への取組の経験>

環境問題へどのような取組をしていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

Q4

		回答数	比率
1	ごみの分別	289	57.8%
2	省エネ(例:『節水』『冷蔵庫にものを詰め込みすぎない』『ドアの開閉時間缩短する』『不要照明・不要時間帯の消灯』『室温の適正管理』など)	247	49.4%
3	食品ロスの削減(例:『不要なものを購入しない』『食品を残さず食べきる』)	220	44.0%
4	買物の時にマイバッグの使用やマイボトルの持ち歩き	219	43.8%
5	ごみの減量(例:詰め替え可能製品・簡易包装製品・長く使える製品の選択)	207	41.4%
6	自動車を利用せず、公共交通機関や自転車の利用	142	28.4%
7	プラスチックの使用の少ないものの選択	75	15.0%
8	まだ使用できる不用品をバザーなどフリーマーケットに出品	62	12.4%
9	エコドライブ(*1)	49	9.8%
10	太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーの利用	24	4.8%
11	電気自動車など環境負荷の少ない自動車への乗り換え	20	4.0%
12	その他(具体的に)	0	0.0%
13	取り組んでいない	90	18.0%
回答総数		1644	
該当者数		500	



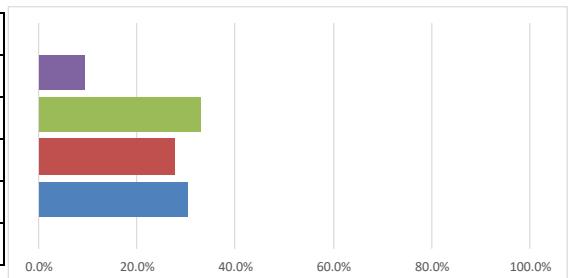
8割以上の方が環境問題への取組を行っている。

Q 5. <環境学習の経験>

環境学習 *を行っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q5

		回答数	比率
1	日ごろから、積極的に行っている	47	9.4%
2	なるべく行うようにしている	164	32.8%
3	あまり行っていない	138	27.6%
4	全く行っていない	151	30.2%
	回答総数	500	100.0%



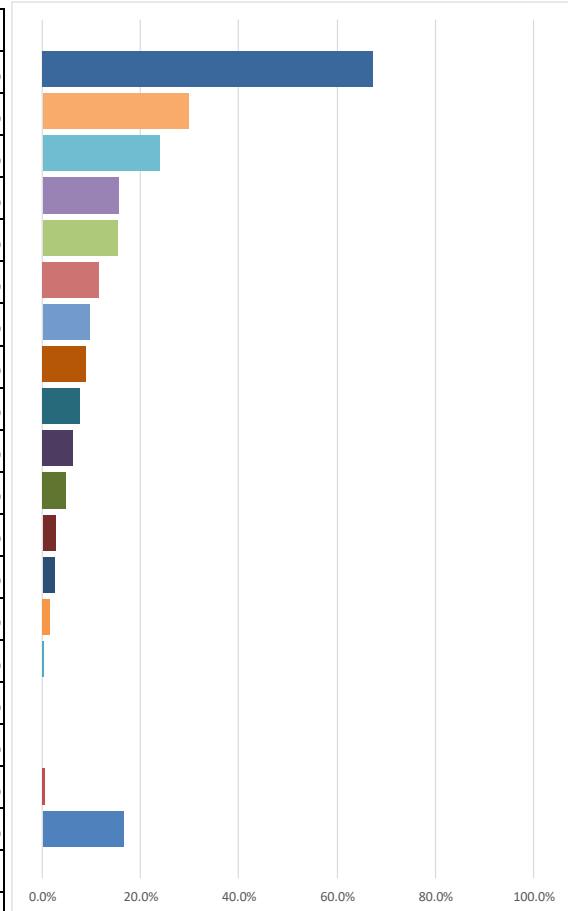
「日ごろから、積極的に行っている」「なるべく行うようにしている」と回答した方が約4割と、「あまり行っていない」「全く行っていない」と回答した方の割合を下回っている。

Q 6. <環境問題に関する情報の入手方法>

環境問題に関する情報をどのように得ていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

Q6

		回答数	比率
1	テレビ	337	67.4%
2	WEBニュース	149	29.8%
3	新聞	119	23.8%
4	大阪市の広報紙(区民だより)	78	15.6%
5	SNS(Twitter・Facebook・Instagramなど)	76	15.2%
6	雑誌	57	11.4%
7	家族、友人、知人	48	9.6%
8	ラジオ	45	9.0%
9	大阪市ホームページ	38	7.6%
10	企業のパンフレット、ホームページなど	32	6.4%
11	学校、職場	24	4.8%
12	企業の講座、イベント	14	2.8%
13	公的機関の講座、イベント	12	2.4%
14	なにわエコスタイル(大阪市環境局が運営する環境学習情報発信サイト)	8	1.6%
15	大阪市の広報紙(区民だより以外)(具体的に)	1	0.2%
16	大阪市以外の行政機関の広報紙(具体的に)	0	0.0%
17	大阪市以外の行政機関のホームページ(具体的に)	0	0.0%
18	その他(具体的に)	3	0.6%
19	何も得ていない	82	16.4%
	回答総数	1123	
	該当者数	500	



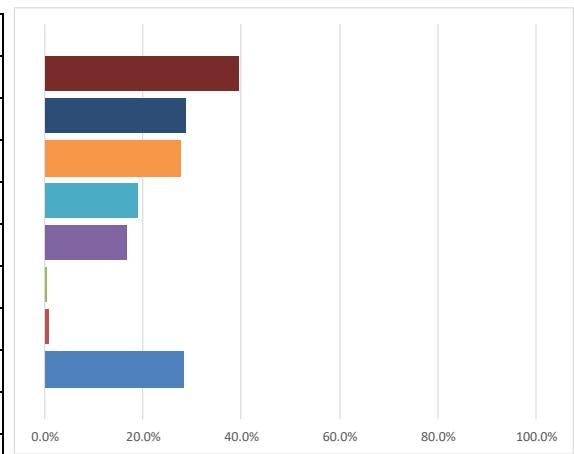
6割以上の方がテレビから情報を得ている。

Q 7. <大阪市が実施する環境学習関連事業>

市民の方々が環境問題への理解を深め、環境に配慮した行動を促すためには、大阪市は、どのような環境学習関連事業が必要と思いますか。あてはまるものをすべてお選びください。

Q7

	回答数	比率
1 動画やSNSなどを活用した環境情報の発信	198	39.6%
2 不特定多数の方が参加する環境イベントの開催	143	28.6%
3 様々な環境テーマを取り上げたセミナーなどの開催	138	27.6%
4 事業者・団体等と連携した環境学習	94	18.8%
5 出前講座(講師を派遣し、地域団体やグループなどへの講座)	84	16.8%
6 啓発活動(上記1~5以外)の開催(具体的に)	1	0.2%
7 その他(具体的に)	4	0.8%
8 何もする必要はない	142	28.4%
回答総数	804	
該当者数	500	



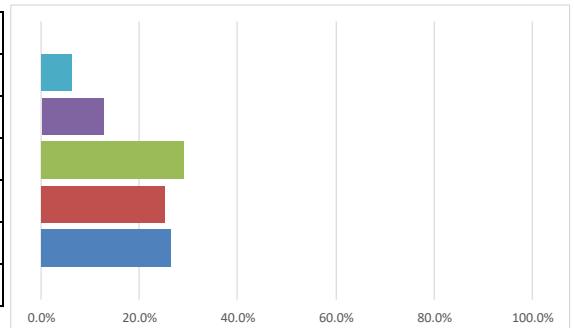
「動画や SNS などを活用した環境情報の発信」と回答した方が約 4 割、次いで約 3 割の方が「不特定多数の方が参加する環境イベントの開催」と回答している。

Q 8. <環境活動推進施設の認知度>

鶴見緑地内にある環境活動推進施設（愛称：なにわ ECO スクエア）(* 1) を知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q8

	回答数	比率
1 知っていて、行ったことがある	32	6.4%
2 知っているが、行ったことはない	63	12.6%
3 知らないが、行ってみたい	146	29.2%
4 知らなくて、行ってみたくない	127	25.4%
5 わからない	132	26.4%
回答総数	500	100.0%



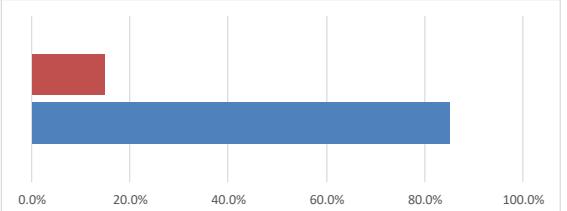
知っている方が約 2 割と知らない方の割合を下回っているが、約 3 割の方が行ってみたいと回答している。

Q 9. <大阪市が実施している環境学習関連事業の認知度>

大阪市が環境学習講座・イベント*を実施していることを知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q9

	回答数	比率
1 知っている(Q10へ)	74	14.8%
2 知らない(Q11へ)	426	85.2%
回答総数	500	100.0%

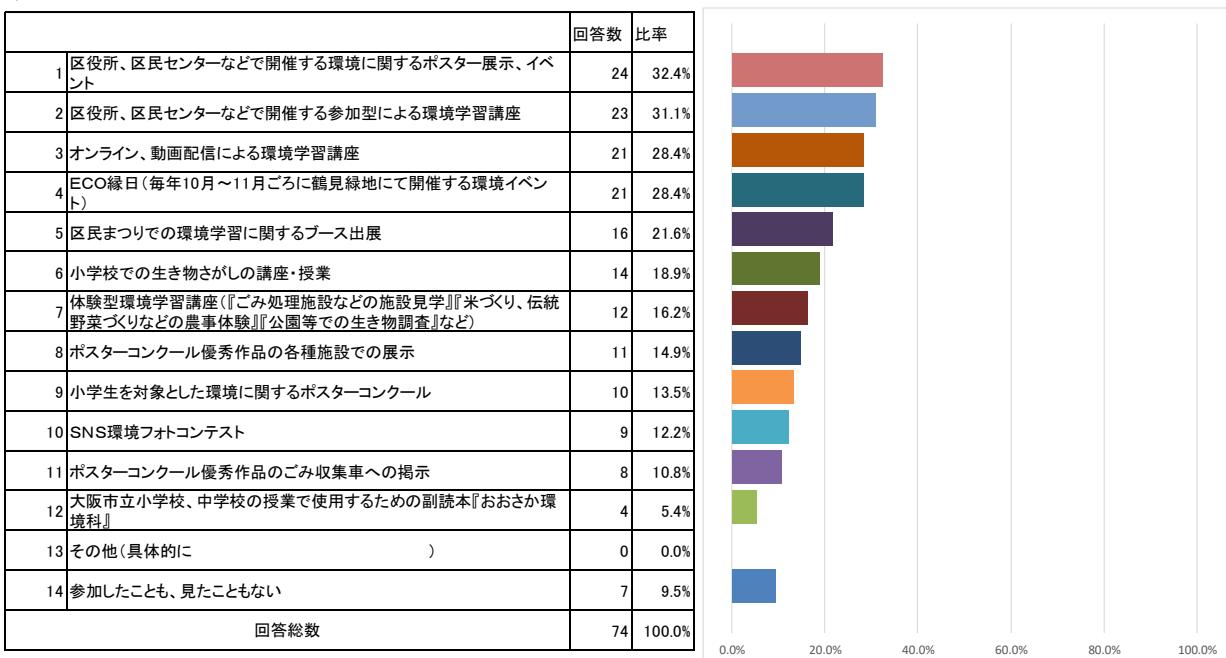


知らない方が 8 割以上と知っている方を大きく上回っている。

Q10. <大阪市が実施している環境学習関連事業への参加>

大阪市が実施している環境学習講座・イベントに参加したり、ご覧になったことがありますか。あてはまるものをお選びください。

Q10

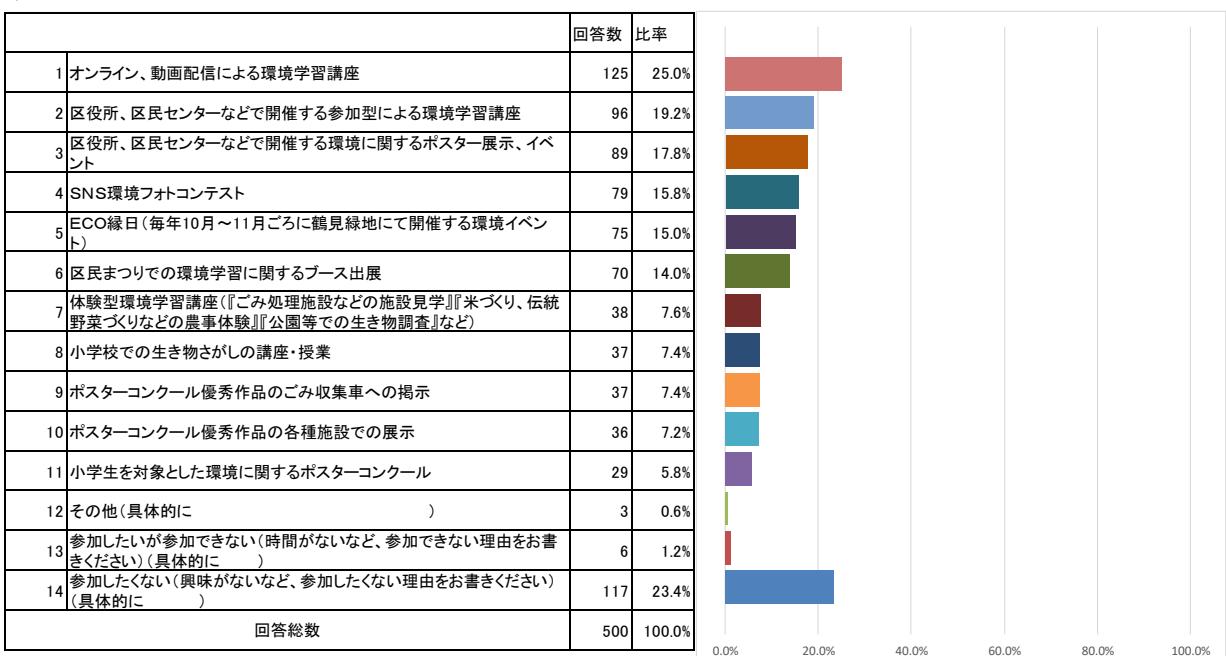


約9割の方が大阪市が実施している環境学習講座・イベントに参加したり、見たことがあると回答している。

Q11. <大阪市が実施する環境学習関連事業への参加>

大阪市が実施している環境学習講座・イベントに今後も参加したいものは何ですか。あてはまるものをお選びください。

Q11



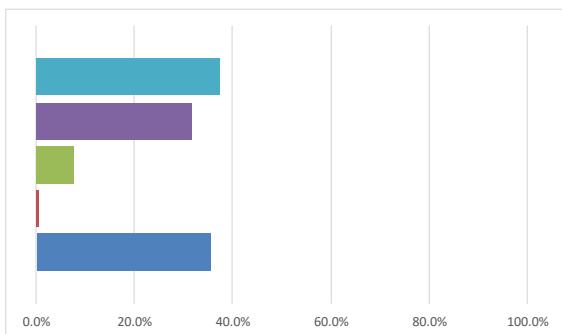
4割以上の方がオンライン、動画配信もしくは参加型による環境学習講座に参加したいと回答している。

Q12. <大阪市が実施する環境学習関連事業への参加しやすい場所>

大阪市が実施する環境学習講座・イベントに参加したい場合、どこでなら参加しますか。あてはまるものをすべてお選びください。

Q12

	回答数	比率
1 自宅、勤務先から徒歩、自転車で容易に行くことができるところであれば参加したい	187	37.4%
2 自宅、勤務先など、移動する必要がないところであれば参加したい	158	31.6%
3 自宅、勤務先から離れていても、大阪市内であればどこでも参加したい	38	7.6%
4 その他(1~3以外の場所)()	3	0.6%
5 参加したくない	177	35.4%
回答総数	500	100.0%



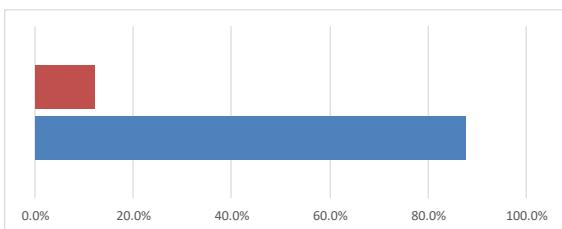
約7割の方が「自宅、勤務先から徒歩、自転車で行くことができるところ」、もしくは「自宅、勤務先など、移動する必要がないところ」であれば参加したいと回答している。

Q13. <大阪市エコボランティアの認知度>

大阪市では、平成26年より大阪市エコボランティア登録制度を実施していますが、大阪市エコボランティア(*1)を知っていますか。あてはまるものを1つお選びください。

Q13

	回答数	比率
1 知っている	61	12.2%
2 知らない	439	87.8%
回答総数	500	100.0%



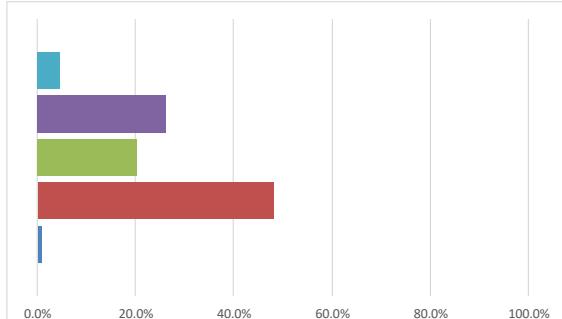
知っていると回答した方が約1割と、知らないと回答した方の割合を下回っている。

Q14. <大阪市エコボランティアへの加入>

大阪市エコボランティアに加入したいですか。

Q14

	N	%
1 加入したい	23	4.6%
2 もう少し詳しく活動内容などを知ってから決めたい	131	26.2%
3 加入したいが、時間がないので加入できない	101	20.2%
4 加入したくない	241	48.2%
5 その他(具体的に)	4	0.8%
回答総数	500	100.0%



「加入したい」、「詳しい活動内容などを知ってから決めたい」及び「加入したいが、時間がないので加入できない」と回答した方の合計が約5割を占め、エコボランティアについて興味を持っている。